

グローバルスタートアップキャンパス構想

《人材育成プログラム》

INSPIRE 公募要領

● 本事業の目的

政府が掲げる GSC 構想では、国内外の優秀で野心的な研究者及び起業家、スタートアップ、先見的なベンチャーキャピタル（以下 VC とする）、アクセラレーター及びインキュベーター、企業との連携により、我が国全体のイノベーション・エコシステムの変革を促進し、世界最高水準のイノベーション・エコシステムのハブを構築することをミッションとしている。「グローバル・スタートアップ・キャンパス構想先行的活動に関する実施方針（令和 7 年 6 月 10 日）」及び「同実施細則（令和 7 年 6 月 10 日）」では、世界から優れた人材・投資を集める呼び水となるよう、海外機関との連携による、①研究者・投資家等の集積に向けた国際研究、②事業化支援、③人材育成（フェローシップ）を先行的活動として一体的に実施し、これらの取組を通じて、本構想の実現に向けた取組の具体化・高度化につなげるとともに、ステークホルダーとのパートナーシップを構築することとされている。

本プログラムはその中の③人材育成（フェローシップ）の中で、日本から世界を変える次世代のグローバル起業家を輩出するための、実践的人材育成プログラムである。詳細は以下のとおり。

● INSPIRE（実施概要）

日本においては、米国と比較して世界的規模に成長するユニコーン級以上のスタートアップの創出数や大型の企業買収につながる件数が依然として限定的である一方、大学や研究機関を中心に、Deep Tech 分野をはじめとする有望な技術シーズや問題意識を持つ若い人材は数多く存在している。

こうした技術シーズや課題意識を社会実装・事業化へと導き、将来的に継続的なスタートアップ創出につなげていくためには、起業やグローバルな成長を実際に経験してきた同世代の先行起業家と、次世代の起業家候補となる若い人材とを早期に接続し、挑戦の初期段階から世界水準の視点や知見に触れる機会を提供することが重要である。

本プログラムは、起業や世界最速でユニコーン級へ成長したスタートアップ創業者やそれをサポートした人材など、トップランナーである海外の同世代起業家及び起業家支援人材との対話・メンタリング機会の提供を通じて、成功事例やリ

アルな知見を共有し、互いに刺激を与え合うことで、挑戦の基準を世界レベルに引き上げ続けることを目的とする。

1. 活動期間と主な活動内容

- 活動期間：2026年8月～2027年3月

- 活動内容

A. アメリカ合衆国（シリコンバレー）での1週間の集中プログラム

- a. 上記期間のうち、2026年8月～9月の間で約1週間（具体的な日時は別途決定。8月24日週、8月31日週、9月7日週のいずれかを予定）、アメリカシリコンバレーに滞在し、起業や世界最速でユニコーン級へ成長したスタートアップ創業者等が組織する学生主導の団体（以下「海外連携機関」。名称は非公開・採択者にのみ採択通知時まで告知予定）と連携した短期間のプログラムに参加し、彼らからのメンタリングを受けることで起業やスタートアップの成長に必要な知見とネットワークの提供を受ける。
- b. 集中プログラム参加期間中は、対象者は本プログラムのみ集中して時間を活用することが求められ、1日8時間程度をプログラム参加に充てることが求められる。
- c. なお、プログラムの中では主に、海外の同世代起業家、起業家支援人材、投資家等からのメンタリングや各種ネットワーキング活動等を行うことを通じて、知見とネットワークの獲得を目指す。

B. 集中プログラム後の継続的なフォロー機会

- a. 対象者に対しては、アメリカでの集中プログラム参加後にも、自身の事業の成長を主目的としたオンラインによるメンタリングやオフィスアワー形式での対話機会を設ける。これらの機会は、海外連携機関との対話を中心に実施し、必要に応じて本プログラムの他の参加者も同席する。実施頻度は概ね月1回

程度を想定し、1回あたり30分～60分程度とするが、対象者の状況やテーマに応じて柔軟に設計する。

- b. メンタリングに加えて、アメリカ集中プログラムにおいてメンターを担当した海外連携機関が来日するタイミングに合わせて直接面談による対話の機会を提供する。（実施時期・回数等は未定。追って通知する）

※活動期間と主な活動内容は変更になる可能性がありますので、ご注意ください

2. 支給・支援内容

A) 集中プログラム参加時の渡航費・滞在費（※）

※：上限あり。加えて以下の経費は対象外。また渡航費・滞在費は、予め参加者自らが取得したものについて、領収書及び各種証票（採択時に支給するマニュアルに清算方法を記載予定）及び請求書を受領後、当月締め翌月末払いにて事務局より清算払い。

- ① エコノミークラスを超えるクラス（プレミアムエコノミークラス、ビジネスクラス等）に搭乗するために要する追加費（電車、船等の場合も、原則最も低いクラスの移動費のみが対象）
- ② 滞在時の飲食費・懇親・遊行関連費
- ③ 上限を超過した渡航費・滞在費
- ④ 本プログラム参加に直接的に必要と判断できない費用

3. 参加者の要件等

参加者は、上記に記載する類型毎に、以下に記載する必須要件を満たす必要がある。

《必須要件》

- A. ユニコーン級以上のスタートアップを創る強い意志があること
- B. 日本国内の大学・大学院・高等専門学校に在籍していること

- C. 起業準備中、または起業直後であり、スタートアップ活動にフルコミットする意思があること
- D. 日常的な英語でのコミュニケーションが可能であること
- E. コミュニティへの高い貢献意欲を持ち、積極的に参加・支援する姿勢があること
- F. 日本国内の重要技術の国外流出につながる、もしくはその懸念のある活動等に参画及び関与しないことを誓約することができること

4. 選定人数

若干名

5. 公募期間

以下の通りのスケジュールにて公募を実施する。期間中は申請都度、順次以下5. に示す通りの審査を行い、採択を行う。なお、4. に記載の上限に達し次第、第2回以降の公募を行わずに全体公募を終了する可能性がある。

公募期間：

第1回: 2026年4月1日（水）～2026年4月30日（木）終日

第2回: 2026年5月1日（金）～2026年6月1日（月）終日

6. 選考プロセス

A. 書類審査（英語の CV およびアプリケーションフォーム）

必須要件への適合状況を事務局にて確認する。あわせて、起業に対する意志の強さ、これまでの活動内容、課題意識の明確さ等について総合的に評価

B. 運営チームとの面談（複数回）

起業およびユニコーン級以上のスタートアップ創出に対する意志の強さを中心に、これまでの経験や問題意識、関心を持つテーマや将来的に取り組みたい課題との整合性を確認する。あわせて、起業に至る動機や背景、本

プログラムを通じて何を実現しようとしているのかについて、その具体性および一貫性を評価する。また、コミュニティの一員として、どのような形で関与し価値を生み出そうとしているかについても確認する。オンライン実施（使用言語：日本語）

C. 海外連携機関との面談（1回）

海外連携機関が、本プログラムの参加者としての適性および将来的な成長可能性について評価。オンライン実施（使用言語：英語）

参考情報：GATS プロジェクト運営事務局（運営支援機関）概要

本事務局は、内閣府が推進するグローバルスタートアップキャンパス構想（詳細は以下 URL 参照）における、②事業化支援・③人材育成事業に運営支援機関として採択されたもので、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社と株式会社博報堂の連携により運営されている。

グローバルスタートアップ構想概要：

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/global_startup_campus_initiative/index.htm

！

東京大学協創プラットフォーム開発株式会社概要：<https://www.utokyo-ipc.co.jp/>

株式会社博報堂概要：<https://www.hakuhodo.co.jp/>

本事業概要：<https://gats-web.jp/program3/inspire>

お問い合わせ先：info@gats-web.jp